



JAL不当解雇撤回ニュース

No414号 2014.12.12
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

12.9 Remember Action



【写真】日航本社に向け海岸通りを進むデモ行進。不当解雇撤回のシュプレヒコールが品川の街に響きました。

日航本社に向けてデモ行進

2010年12月9日、日本航空が不当な整理解雇通告してきた日。この暴挙からちょうど4年の12月9日、国民支援共闘と原告団は、Remember Action デモ&日航本社包囲行動を実施しました。

日航本社に向け350人のデモ行進

東京品川区の聖蹟公園に集合し、日航本社に向けてデモ行進。18:20に出発したデモは、山手通り、海岸通りと進

み天王洲アイルの日航本社へ。参加者 350 人の隊列から、日航は不当解雇を撤回せよ！ 安全第 1 の経営を行え！ ILO 勧告を履行せよ！とシュプレヒコール。近所の品川区のみなさんや道行く人に大いにアピールしました。



【写真】デモ行進の先頭は、山口パイロット原告団長と共同代表の金澤全労協議長、MIC 新崎議長、全労連小田川議長(以上左より)

不当解雇撤回！に憲法守れ！も

デモの先頭乗員原告団長の山口さん共同代表の小田川全労連議長、金澤全労協議長、新崎 MIC 議長の 4 名。

先頭に掲げた横断幕は「安全・安心・人間らしく生きるため、憲法改悪、ブラック企業、JAL 不当解雇、原発、増税 ぜったいダメ！」

解散地点の天王洲までは約 1 km。時間にして 20 分程度ですが、この界限でははじめてのデモ。350 名の長い隊列は多くの方の注目を集めることとなり、不当解雇撤回を大いにアピールするデモ行進となりました。

本社前



500人超

【写真】日航の本社前を埋める参加者、通りはさみ公園側も人々。宣伝カー上の中央は醍醐東大名誉教授

参加者で日航本社を包囲

デモ解散後そのまま本社に移動して、日航本社包囲行動に移行。デモには間に合わず直接本社に駆けつけた参加者加わり、総勢は500人超。参加者は、本社前の歩道と、本社前の通りを挟んで天王洲公園側の歩道に。林立する幟旗と人の波は圧巻でした。

共同代表が支援の強化とともに日航には早期解決を呼びかける

18:45頃より街宣車の上からあいさつと訴え。主催者を代表して全労連の小田川議長が闘いの経過と現状に触れ、一層の支援強化を訴えるとともに早期解決を日航に呼びかけました。また全労協の金澤議長は「今の日本航空の状況は、二次破綻が起きてもおかしくない」とし、ゆがんだ経営を正すべきと訴えました。

MICの新崎議長は、羽田記者クラブや国交省の記者クラブ時代に日航を度々取材した経験にも触れつつ、争議を早期に解決し公共交通機関として社会的な役割を果たす会社に戻れと日航に訴えました。

争議の早期解決を日航に要請

宣伝行動と並行し要請団による要請行動を実施。日航はいつもの通り社屋への立ち入りを拒否し、門前対応。相変わらず



【写真】要請行動は、現役のパイロットや客乗、地上職の組合員が取り囲む中で行われた

ず不当な対応ではありますが、今回は、要請書を手渡した後、一人ひとりが一言ずつ、対応に出た管理職に要請し、回答は、後日、当該労組との交渉の中で明確に答えるよう申し入れ、要請行動を終えました。

醍醐東大名誉教授が連帯のあいさつ 当該労組・原告団代表が決意表明

連帯のあいさつには、不当解雇とたたかう日航労働者を励ます会から醍醐東京大学名誉教授が、当該労組を代表しCCU前田副委員長、日航乗組田二見委員長が人員不足と稼働強化が進む職場にも触れ、職場の中から闘う決意を表明しました。

原告団を代表し、内田客乗原告団長と山口乗員原告団長が決意表明。内田団長は解雇通告から今日まで闘いを振り返り、解雇を通告された



【写真】当該労組と原告が決意表明。左より CCU 神田執行委員、同前田副委員長、山口団長、内田団長

時の怒りや悔しさと各原告の思いを述べ、必ず職場に戻ると決意を表明しました。